

令和 5 年度 ACTR

分類 番号	A5	取組 名称	文化庁 MALUI 連携による綾部市君尾山歴史ふるさと活性化事業—「国宝二王門と巨樹の森」の魅力発信と次世代継承—
研究代表者所属・職名：		文学部・教授	氏名：横内 裕人
研究担当者： 京都府立大学（岸泰子） 外部分担者・協力者（井上一稔氏、小山元孝氏、大関美沙氏、稲穂将士氏）			
主な連携機関（所在市町村、機関（部署）名） 綾部市資料館、綾部市教育委員会、奥上林地区自治連合会、君尾山を守る会、奥上林地域振興協議会			
【研究活動の要約】			
<p>京都府立大学歴史学科の学生が中心になり、君尾山の四国八十八ヶ所霊場本尊石仏や石灯籠を調査しました。府大学生と綾部市立上林中学校の中学生在「ふるさと学習」で「光明寺の推し仏」探しを行いました（9/13）。その様子は綾部市 HP で動画公開されています。また文化庁文化財調査官を招き、光明寺の仏像の指定・保存管理について助言をいただき、地域で文化財を守る手立てについて検討しました（11/14）。調査成果の公開のために、綾部市社会科教員、高齢者学級、上林小中一貫校、奥上林住民向けにそれぞれ講演会や現地見学会を行うとともに、二冊目となる報告書を刊行しました。調査経過について綾部市が作成した動画を市 HP で動画を公開しました（参考資料）。また学生が光明寺の文化財を紹介する動画を地元有志の HP で公開する予定です。</p>			
【研究活動の成果】			
<p>光明寺に所在する四国八十八ヶ所霊場本尊石仏の調査を行いました。この石仏は、四国八十八ヶ所霊場の本尊と弘法大師とを 2 体で 1 組とし、合計 88 組 176 体の仏像群です。仏像は、光明寺二王門の脇と光明寺に登る二つの参道の途中、古井・山内の 2 ヶ所、合計 3 ヶ所に所在しています。このうち二王門前の 88 体、古井の 44 体について、法量計測・写真撮影・現状記録を行いました。山内の石仏は、36 体を確認しましたが、土砂に埋もれているため、正確な数字はわかりません。これまでに調査をした光明寺所蔵の古文書と照合したところ、この石仏は、文政 8 年（1825）年に造立が呼びかけられ、これに応じた上林の村々や丹後の住民達の寄進によって完成した「写し霊場」の石仏であることが判明しました。今後、山内の石仏を発掘調査することで、江戸時代の民衆信仰の実態が明らかになると期待できます。</p>			
【研究成果の還元】			
<p>8/18 綾部市学研社会科中学部会研究会、光明寺・上林一貫校、社会科教員 9 名 8/23 高齢者学級、光明寺、20 名 11/17 上林小中一貫校 PTA 主催ふるさと講演会、上林一貫校、約 30 名 11/23 奥上林公民館大会、奥上林公民館、約 40 名</p>			
【お問い合わせ先】			
<p>文学部 横内研究室 教授 横内 裕人 Tel: 075-703-5256 E-mail: yokouchi@kpu.ac.jp</p>			

参考（イメージ図、活動写真等）

- ・撮れたてあやべ第 240 回「京都府立大学と上林中学校の君尾山光明寺調査」動画リンク
<https://www.youtube.com/watch?v=rAt15UfTfp0>



- ・君尾山光明寺西国八十八ヶ所石仏調査（9/13、上林中学校生徒も参加）



- ・文化庁調査官による仏像保存管理調査（11/14）

